

# 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2020年6月7日（日） 13時00分～17時00分

場所： 筑波大学筑波キャンパス（つくば市天王台）計算科学研究センター会議室C

出席代議員：鈴木、深川、谷本、犬塚、榎戸、野村、松下、坪井、土居、井岡、北山、  
縣、横山、百瀬、大内、梅村、一本、河野、鶴、長田、戸谷、須藤、本間、相川、  
奥村、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、津村、吉田、米徳、藤沢、江草、  
生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井（以上42名、委任状1名）

欠席代議員：郷田（以上1名）

大石監事、田村副会長、寺田(馬場)副会長、伊王野庶務理事、鹿野会計理事、早野会計理事、酒井年会実行理事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。梅村会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。また、議論課題の「国立天文台に関する件」においては、観山委員長（「国立天文台コミュニティー間意思疎通推進委員会」）、常田国立天文台台長、渡部国立天文台副台長がオブザーバーとして出席した。

なお、COVID-19感染拡大防止対策のため、梅村会長(代議員兼任)を除きオンライン参加である。

## I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が42名、議長委任状が1件、合計43件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2020年3月17日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

## II. 報告

### II-1. 2019年度監査報告(資料3、大石)

大石監事より、資料3の監査報告書にもとづき、事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることが報告された。

## III. 議題

### III-1. 公益社団法人日本天文学会 2019年度事業報告書の承認(資料4、鈴木)

資料4にもとづき2019年度の事業報告があった。ほぼ例年通りの活動であった。代議員による除籍対象者リストの確認後に、除籍(会費未納による資格喪失)処理を行うべきとの指摘があった。賛成多数で承認された。

### III-2. 公益社団法人日本天文学会 2019年度決算書の承認(資料5、鹿野)

資料5にもとづき決算の報告があった。誤解を招く可能性のある予算科目名を修正することとし、賛成多数で承認された。

### III-3. 会費納入期限の延期について(資料 6、鹿野)

COVID-19 の流行および感染防止のための様々な自粛の影響があり、会費の納入が滞ることが心配された。このことにより、2020 年度のみの特例として、会長判断にて納期を 2020 年 6 月末まで延期した。また日本天文学会正会員(学生)に対しての 2020 年度会費の割引額適用期間を 2020 年 6 月末までとした。賛成多数で承認された。

### III-4. 学生会費免除について(資料 7、鹿野)

COVID-19 の流行のため様々な経済的影響があり、特に学生は苦慮している状況であるため、日本天文学会正会員(学生)の 2020 年度会費を免除することが提案された。秋季年会がオンラインで開催されるため年会事業経費等が軽減することもあり、学生会員の会費免除による学会会計全体への影響は非常に小さいことが確認された。賛成多数で承認された。

### III-5. PASJ 論文賞、紙版電子化等について(資料 8、鈴木)

PASJ 論文賞の認知度と関心を高めるために、授賞式と受賞講演を秋季年会に行うことが提案された。ただし、論文出版時から受賞まで時間が経過していることを考慮し、受賞論文の内容のみならず、その後の発展や論文の世界的位置付け踏まえて講演して頂く予定である。受賞者には天文月報への寄稿を依頼することが提案された。賛成多数で承認された。

電子版発行以前の 1-52 巻の論文は 20 年前に ADS の協力を得て電子化されたが、図の解像度が低く、テキスト検索もできないためやや不便である。そのうち、48-52 巻については、OUP 社が図の解像度が低いなど問題のある部分を再スキャンした上で OCR 処理によるテキスト埋め込みを行いウェブサイトに掲載している。1-47 巻の電子化作業をやり直すことが提案され、賛成多数で承認された。

## IV. 報告

### IV-1. 理事会(2020 年 5 月 23 日)の報告(鈴木)

### IV-2. PASJ 編集委員の増員について(資料 8、鈴木)

現 PASJ 委員の負担を軽減し、分野のバランスもとるために新たに 5 名の委員(国外 2 名、国内 3 名)の増員の提案があり、理事会で承認されたことが報告された。候補者が PASJ 編集者として適任であるかよく精査すべてきであるという指摘があった。

### IV-3. インターネット天文学辞典編集委員会の活動報告(資料 9、縣)

インターネット天文学辞典のページビューが伸びていることが報告された。近日中に tennet を通してアンケートを実施する予定である。

### IV-4. 2019 年度早川基金報告(資料 10、鈴木)

2019 年度は申請 64 件に対して 25 件採択(1 件辞退)されたことが報告された。

### IV-5. 秋季年会の実施方針について(資料 11、酒井)

2020 年春季年会(筑波大学)は講演ファイルのウェブ掲載をもって発表成立とし、573 件の提出があった。公開講演会は中止とした。また、2020 年秋季年会(弘前

大学) は、COVID-19 の影響を考慮し、オンライン開催となった。その実施方法案の概要が報告された。

IV-6. 天文学振興財団との協賛に関する覚書について(資料 12、梅村)

天文学振興財団が「古在由秀賞」ならびに「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」を設立するにあたり、天文学会の協賛を求めており、覚書を取り交わすことになった。両賞の選考委員に関しては、会長は自らの他に正会員より 6 名の選考委員を推薦することとし、当面は林忠四郎賞選考委員会委員を中心に推薦委員を選考することが提案された。本提案が理事会で承認されたことが報告された。

IV-7. 日本天文学会からの衛星設計コンテスト諸委員の交代(資料 13、梅村)

日本天文学会選出の新しい審査委員として、名古屋大学の田原 讓名誉教授が提案され理事会で承認されたことが報告された。なお、日本天文学会からの選出委員は、梅村雅之、牧島一夫(実行委員)、小高裕和(企画委員)、田原 讓(審査委員)である。

IV-8. 天文教育普及選考委員の数の削減について(資料 14、鈴木)

天文教育普及選考委員を 9 名から 6 名に削減する提案が理事会で承認されたことが報告された。野田 学、福江 純、山岡 均の 3 氏が退任する。

IV-9. 今後の年会開催地と開催地理事について(資料 14、鈴木)

今後の年会開催地と開催地理事が以下のように提案され理事会で承認されたことが報告された。

2021 秋(京都産業大学+京都大学) 米原 厚憲

2022 春(広島大学+呉高専) 深沢 泰司

2022 秋(新潟大学) 西 亮一

2023 春(立教大学) 北本 俊二

IV-10. 国内研修支援金選考委員会に内規の改正(資料 14、鈴木)

国内研修支援金選考委員会は選考の経緯と結果を代議員総会で報告する義務を負うこと、またこれを内規に追加することが理事会で提案・承認されたことが報告された。

IV-11. 早川幸男基金の内規の改正(資料 14、鈴木)

早川幸男基金選考委員会は選考の経緯と結果を代議員総会で報告する義務を負うこと、またこれを内規に追加することが理事会で提案・承認されたことが報告された。

IV-12. 天文教育委員会からの報告(資料 15、鈴木)

秋季年会にてオンラインの教育フォーラムを検討していることが報告された。また、講師紹介プログラム、監修者紹介プログラム、IAU OAE についての報告がされた。

IV-13. 学術会議・IAU 分科会報告(深川)

5月8日に開催された天文学宇宙物理学分科会およびIAU分科会の報告がされた。

IV-14. メガコンステレーションに関する学会声明について(梅村)

Space X が社会的に注目されており、また COVID-19 の感染拡大防止への応用など

社会にも貢献する可能性がある。このような状況であるため、メガコンステレーションに対して意見を出すタイミングを再検討することとした。

#### IV-15. その他

秋季年会において日本天文学会と韓国天文学会との合同セッションを開催する予定だったが、秋季年会のオンライン化に伴い合同セッションをキャンセルすることとした。

#### V. 議論議題：国立天文台に関する件

国立天文台コミュニティー間意思疎通推進委員会委員会の目的、現状、および今後のタイムラインが、同委員会の観山委員長より報告された。その後、国立天文台が全国共同利用機関として、天文学コミュニティーに対し高い透明性を保ち運営を行っていくための要望が代議員から出され、国立天文台執行部との質疑応答が行われた。

#### [資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 前回(2020年3月17日)代議員総会議事録(案)

資料 3 公益社団法人日本天文学会 2019年度監査報告書

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2019年度事業報告書

資料 5 公益社団法人日本天文学会 2019年度決算書類

資料 6 2020年度会費の納入期限延期について

資料 7 学生正会員の2020年度会費免除について

資料 8 PASJ編集委員会からの議題と報告

資料 9 活動報告 インターネット天文学辞典編集委員会

資料 10 2019年度早川幸男基金採択者(第105回～第108回)

資料 11 2020年の年会について

資料 12 天文学振興財団との協賛に関する覚書について

資料 13 日本天文学会からの衛星設計コンテスト諸委員の交代

資料 14 委員会等からの議題

資料 15 天文教育委員会より、前回理事会(2020年3月16日)以降の活動報告

2020年6月7日

議長・署名人：梅村雅之 印